

人権集会

『相手の気持ちを考える』

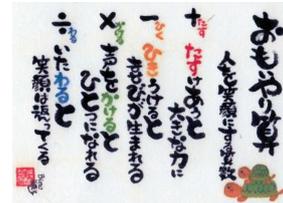
講話（校長）



12月4日から10日までが人権週間となっています。「人権」というと難しくそうですが、実は簡単なことなんです。人権週間のテーマは「考えよう 相手の気持ち 育てよう 思いやりの心」です。相手の気持ちを考えて行動し、思いやりをもって接することが「人権」を守ることになるのです。

そのために、去年の人権集会では『おもいやり算』について話をしました。覚えていますか？

- 「たす」 「たすけあうと、大きな力に」
- 「ひく」 「ひきうけると、喜びが生まれる」
- 「かける」 「声をかけると、ひとつになれる」
- 「わる」 「いたわると、笑顔はかえってくる」



の4つでしたね。これからも「たすけあう」「ひきうける」「声をかける」「いたわる」をいつも心がけていきましょう。

今年は、「相手の気持ちを考える」のために、最初に簡単なゲームをします。そのために、4人グループを作ります。グループに1枚ずつ新聞紙を配ります。さて、この新聞紙を使ってゲームを始めます。

最初に、新聞紙を開いた状態で床に置き、その上に4人が乗ってください。新聞紙は意外に広いので、簡単に乗ることができますね。では、新聞紙を半分に折って、その上に乗ってください。ちょっときつくなるけれど、乗れましたね。ここから難しくなります。また新聞紙を半分に折ってその上に乗ってください。片足で立ったり、つま先立ちしたり、工夫して全員が乗ってください。新聞紙からはみだしたり、転んだりしたチームは終了です。クリアできたグループは、また新聞紙を半分に折って、その上に乗ってください。全員が乗れないようだったら、おんぶやだっこをしてもかまいません。組み体操のようにしてもいいです。だめだったグループは終了です。できたグループは、また新聞紙を半分にして、乗ってください。さすがにここまでせまくなると、全員が乗るのは無理なようですね。最後まで残っていたグループに、拍手。



さて、今ゲームをしていたときのことをふり返ってみましょう。乗ることができる場所がせまくなってくると、お互い支え合ったり、上に乗せてあげたりと工夫していました。そのときは、いつも「この姿勢は苦しそうだから助けてあげよう」とか、「乗せてくれている人が、少しでも痛くないように乗ろう」とか、相手の人のことを考えながらやっていました。

これは、今のゲームだけでなく普段でも一緒です。1学期のふれあい班のふり返りを見ても「いつも低学年の子が困らないように工夫できてよかった」「一生懸命にやったら、低学年の子が喜んでくれてうれしかった」「高学年の子が優しくしてくれてうれしかった」など相手のことを考え、また、考えてもらってうれしかった気持ちが書かれていました。こうして何かを一緒にするときには、いつも相手のことを考える必要があります。

このように、相手のことを考えて行動するのが、『思いやり』です。そして、『思いやり』をもつことが、『人権を守る』ということになります。これからも、いつも『思いやり』大切に、みんなが仲良くすごしていけるように心がけていきましょう。

言われてうれしかった言葉・傷ついた言葉のアンケート結果

うれしかった言葉

	低学年	中学年	高学年
第1位	ありがとう	ありがとう	ありがとう
第2位	がんばったね	だいじょうぶ	がんばったね
第3位	だいじょうぶ	がんばったね	すごいね
第4位	じょうずだね	やったね	だいじょうぶ
第5位	やったね	すごいね	やったね

傷ついた言葉

	低学年	中学年	高学年
第1位	ばか	ばか	しね
第2位	うざい	しね	ばか
第3位	ちび	うざい	うざい
第4位	だまれ・うるさい	きえろ・じゃま	きえろ・どっかいけ
第5位	しね あほ	ちび	ちび

ぼくたち・わたしたちのメッセージ

各学級で作った、人権を考える合い言葉を発表しました。



1年「あいさつしっかり やさしさ ありがとうが
あふれる クラス」

2年「やさしい心 心の花を ひとりひとりがもっている
はく手は いいこと つくれるよ
28人はげましあって うれしいことば 広げよう」

3年「みんなに親切 笑顔 たくさん
いっぱい協力 がんばろう！」

4年「今日も一日平和な日 だれもおこらずケンカもない
みんな なかよし 世界は なかよし」

5年「思いやり 絆深まる 宝物」

6年「いのしし」
いじめとせず のびのび学び
しっかり相手の気持ちを考えて
しんけんに見て ちゃんと伝えよう」

